

モデル事業名	琵琶湖を望む「観音寺の里」 水仙街道プロジェクトを通じた魅力・活力の創生
活動団体名	栗東市街道ものがたり百年協議会（リットウシ カイドウモノガタリ ヒャクネンキョウギカイ）
ホームページ	http://（活動団体のHPのアドレス） 準備中
所属／ 担当者名	栗東市 建設部 都市計画課／竹山和弘
連絡先	電話番号：077-551-0349、Eメールアドレス：toshikeikaku@city.ritto.lg.jp
活動地域	滋賀県栗東市観音寺地区（シガケン リットウシ カンオンジ）

● 活動地域の概要

- ◇栗東市の市街地中心部から約7kmの距離にあり、高低差は約280mに及ぶ。
- ◇観音寺地区は、観音寺集落1つからなり、平成17年国勢調査で人口が79人(平成12年から13人減)、世帯数が19世帯(平成12年から1世帯減)の小さな山村集落である。
- ◇年齢別人口は、年少人口が14.1%、生産人口が64.1%、高齢人口が21.8%となっており、人口増加が進む市内において、最も少子高齢化が進展している自治会のひとつとなっている。
- ◇観音寺集落へのアクセスする公共交通機関はなく、デマンドタクシーが運行されているのみである。
- ◇観音寺集落は、平成21年3月23日に開催した第1回栗東市景観百年審議会の開催地であり、同集落からの良好な眺望景観は百年計画の表紙を飾るなど、栗東市の貴重な景観資源である。



【位置図（栗東市全体での位置）】



【アクセス道路から見た集落地域と棚田】



【集落内のメイン道路と琵琶湖への眺望】

● 活動地域の課題

- ◇観音寺集落は、琵琶湖に接しない栗東市において唯一琵琶湖を眺望できる山村集落であるが、アクセス利便性が低く、地域資源である森林環境は担い手不足や高齢化などにより荒廃しつつあり、集落地域も空き家の発生、少子高齢化の進展による地域活力の低下が課題となっている。
- ◇集落全体の高齢化や活力低下が進展する中、集落住民が知恵を出し合い、汗をかき合い、周辺地域と連携しながら、不便な生活環境であっても、それに勝る快適で健康的な住環境の大切さを共有し、広く発信し、地域への誇りと愛着を高めていくことが課題となっている。

## ● 活動の内容（平成21年度）

### I 活動の目的

◇地域住民のリーダーと、多様な主体が参画・連携した「栗東市街道百年ファンクラブ」（栗東市街道ものがたり百年協議会の実働組織）が主体となって、景観の再発見・再認識による地域住民の意識の醸成、地域資源である間伐材等の活用や空き家を活用した交流事業など新たな交流の仕掛けづくりを行い、観音寺地区の活力の維持・向上と「栗東市街道百年ファンクラブ」の組織強化を目的としている。

### II 活動の内容

◇①水仙街道プロジェクト、②間伐材活用プロジェクト、③地域主導のあかりの演出プロジェクト、④古民家活用プロジェクトの4つの取組目標を掲げ、地域住民リーダーと栗東市街道百年ファンクラブによる「観音寺まちづくりリーダー会議」を中心として、定期的に作戦会議を行い、個別事業に取り組んでいる。

## ● 平成21年度

### I 活動の状況

◇観音寺まちづくりリーダー会議をこれまでに計7回実施し、以下の個別事業（主なもの）を実施している。

- H21. 06. 23 まちづくり住民懇談会（取組①、②、③、④）
- H21. 08. 22 間伐材の採取の現地確認、製材機の確認（取組②）、山里集落“観音寺”を彩るあかりの演出2009（取組③）
- H21. 09. 27 間伐材の採取、竹の食器づくり、水仙植え替え作業など（取組①、取組②）
- H21. 10. 12 琵琶湖を望む「観音寺の里」まちづくりイベント
  - ・水仙の分球と棚田への植え替え作業（取組①）
  - ・竹の食器づくり、竹筒ごはんづくり（取組②）
  - ・集落散策、まちづくり座談会（取組①、取組④）
- H21. 10. 25 まちづくり活動のPR in「東海道ほっこりまつり」
- H21. 11. 20 製材機講習会（取組②）
- H21. 12. 06 ヒカリトウトノセカイのプレイベント
- H21. 12. 26 ヒカリトウトノセカイ「観音寺のおとげしき」（取組③）

### II 地域内での反響・効果、周辺への波及効果等

◇今年度は、主として地域住民の観音寺地区への誇りや愛着、ふるさとを想う気持ちを高めていくことに主眼を置いており、8月22日の「山村集落“観音寺”を彩るあかりの演出2009」、10月12日の「琵琶湖を望む『観音寺の里』まちづくりイベント」などでは、老若男女の参加と協力を促した結果、少しずつではあるが、地域住民の意識の変化が見られる。

◇特に、「琵琶湖を望む『観音寺の里』まちづくりイベント」では、都市住民や地域住民同士の交流・意見交換により、観音寺地区が持つ魅力や価値を再認識した機会として、地域住民の好評を得た。



8月22日に開催した「山里集落“観音寺”を彩るあかりの演出2009」。集落内のメイン道路に行燈を並べ、美しい街並みと夜景を演出し、地域住民の誇りや愛着を促す。



10月12日に開催した「琵琶湖を望む『観音寺の里』まちづくりイベント」。都市住民の参加のもと、水仙の植え替え、座談会での意見交換等を実施。

## ● 今後の課題及び展望

### ・課題

◇人口規模が小さな山村集落であることや、これまでの集落活動などの経緯などにより、地域住民の本心が見えにくい（地域の結束を重視する）状況となっていることから、観音寺地区の暮らしやすさを高めようとする活動に対する理解と協力、主体的な意識をより一層高めていく取組が必要である。

◇また、このような特性を踏まえて、今年度は地域住民リーダーが中心となって活動に取り組んでいるが、永続的に活動を継続していくためには、すべての地域住民が自らの知識や経験を活かして積極的に関わっていくことが不可欠であることから、今後はより一層参画の輪を広げていく取組が必要である。

### ・展望

#### I 今後の取組について

◇今年度の残りの期間においては、今年度の活動を振り返りながら、できる限り多くの地域住民が参画した中で、まちづくりや景観の視点を中心に観音寺地区が目指す将来像やそのために必要となる実践活動を考えるとともに、集落住民意識調査などにより、広く地域住民の意識共有を図る取組を実践したいと考えている。

◇来年度以降については、今年度の都市住民との交流事業の経験を活かしながら、都市の雑踏から離れた心やすらぐ自然環境や歴史・生活文化などの地域資源を活かしながら、地域住民と多様な主体が連携しつつ、計画的・継続的に地域の活力の維持・向上に取り組んでいきたいと考えている。

#### II 今後の具体的な予定（決定しているもの）

◇H22. 01. 31 間伐材のベンチづくりワークショップ（取組②）、まちづくり意見交換会（取組③）